

【実践ワークシート】「三方よし」をあなたの事業に活かす4ステップ

このシートを使って、あなたの会社の「三方よし」度チェックから、事業改善アイデア、そしてミッションの種探しまで、一連の流れで取り組んでみましょう。まずはステップ1から始めてください。

ステップ1：あなたの事業の「三方よし」度チェック！

まずは、自社の現状を客観的に振り返ってみましょう。難しく考えず、思いつくことを書き出してください。

売り手よし

5段階評価（1:できていない、5:十分できている）

項目	自己評価	できていること	もっと良くしたいこと
社員はやりがいを感じていますか？		☐	
適正な利益は確保できていますか？		☐	
働きやすい環境ですか？		☐	

買い手よし

5段階評価（1:できていない、5:十分できている）

項目	自己評価	できていること	もっと良くしたいこと
お客様は満足していますか？		☐	
十分な価値を提供できていますか？		☐	
良好な関係を築けていますか？		☐	

世間よし

5段階評価（1:できていない、5:十分できている）

項目	自己評価	できていること	もっと良くしたいこと
----	------	---------	------------

地域社会に貢献できていますか？（例：地域行事参加、地元雇用など）	[]		
----------------------------------	-----	--	--

環境への配慮はできていますか？（例：省エネ、廃棄物削減など）	[]		
--------------------------------	-----	--	--

法令遵守や公正な取引を行っていますか？	[]		
---------------------	-----	--	--

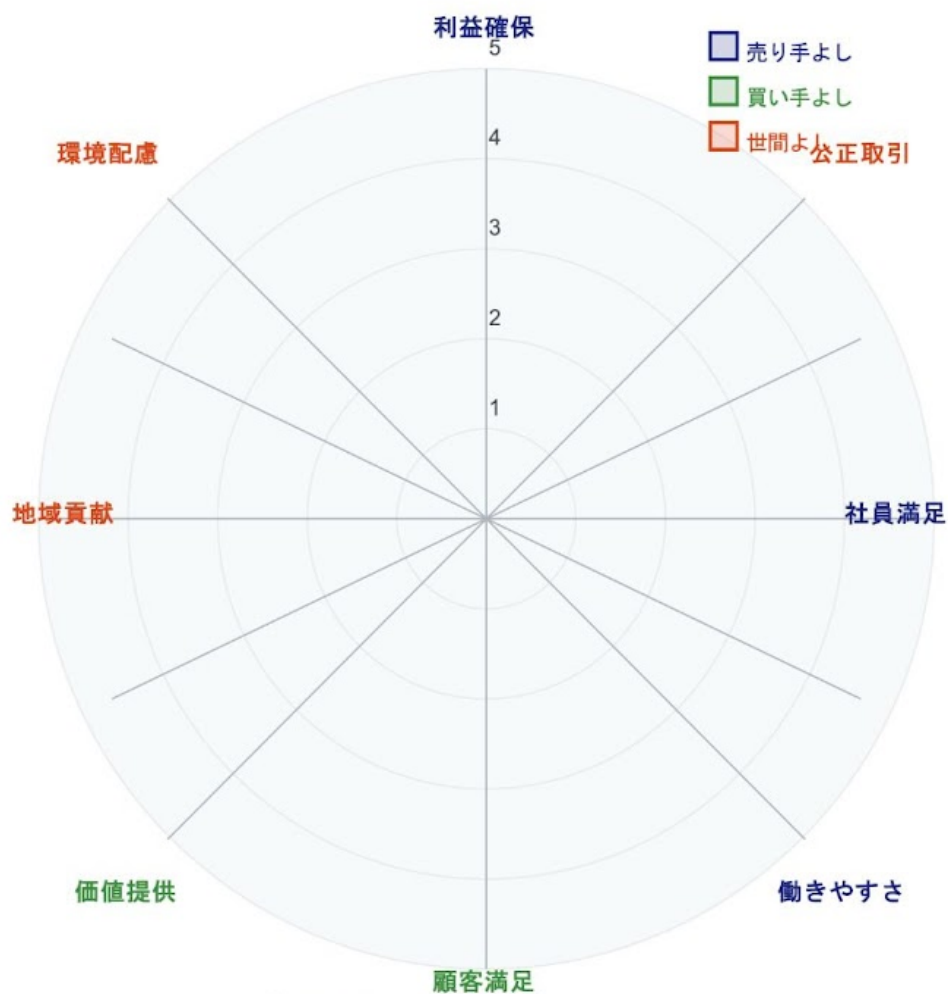
自社の事業はSDGsのどの目標に貢献できそうですか？

（参考：目標8「働きがいも経済成長も」、目標12「つくる責任つかう責任」など）

記入欄:

「三方よし」レーダーチャート

上記の自己評価をもとに、各項目を点でプロットし、線で結んでみましょう。
自社の「三方よし」バランスが見えてきます。（該当する項目を選んでプロットしてください）



「三方よし」レーダーチャート

各項目を5段階で自己評価し、点をプロットして線で結びましょう。
自社の「三方よし」バランスが見えてきます。

(注：レーダーチャートの項目は代表例です。上記評価項目と対応させながらプロットしてください。手書きで点を打ち、結んでみましょう。)

ステップ2：「世間よし」をプラス！事業改善アイデア発想

ステップ1で見えた課題、特に「世間よし」を良くするための具体的な改善アイデアを考えてみましょう。

取り組みたいテーマ（ステップ1より）：

そのテーマを改善し、もっと社会/地域/環境を良くするために、具体的にどんなことができますか？

（アイデアを自由に書き出しましょう）

- ---
- ---
- ---
- ---
- ---
- ---

そのアイデアを実現するために、誰と協力できそうですか？（社内・社外問わず）：

アイデアの例：仕入れ先見直し、地域イベント参加、省エネ対策、簡易包装、環境団体への寄付など

ステップ3：なぜこの仕事を？事業の根っこにある想いを探る

事業改善の動機を深掘りし、あなたの根源的な「想い」や事業の存在意義（ミッションの種）を探ってみましょう。

特にやりたい改善アイデアとその理由は？

今の事業を始めた/続けている理由は？

事業を通じて届けたい価値は？

自社がなくなったら誰が困る？なぜ？

ステップ4：「三方よし」のミッションを言葉にする（はじめの一步）

ステップ3で見た「想い」をもとに、自社ならではの「三方よし」ミッション（経営理念）を言葉にする第一歩を踏み出しましょう。

ミッションのテンプレート例：「私たちの会社は、〇〇を通じて、〇〇を幸せにし、〇〇に貢献します。」

ミッションの「種」となる言葉やフレーズを自由に書き出してみましょう：

- ---
- ---
- ---
- ---

- _____

- _____

(完璧を目指さず、まずは書き出すことが大切です。時間をかけて育てていきましょう。)